



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月13日

上場会社名 リズム株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7769 URL <https://www.rhythm.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯本 武夫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山崎 勝彦 (TEL) 048-643-7241  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,538	△12.4	166	△61.6	439	△39.7	△83	—
2023年3月期第2四半期	16,599	19.8	433	62.6	729	68.4	600	33.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,708百万円(△37.6%) 2023年3月期第2四半期 2,738百万円(277.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△10.14	—
2023年3月期第2四半期	72.72	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	43,956	30,179	68.7
2023年3月期	39,738	28,873	72.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 30,179百万円 2023年3月期 28,873百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	48.50	48.50
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	48.50	48.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	5.7	850	△4.1	1,250	0.3	400	△49.6	48.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,385,093株	2023年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	128,638株	2023年3月期	128,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,256,809株	2023年3月期2Q	8,257,766株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	13
(重要な後発事象)	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (1) 経営成績及び財政状態の状況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

## (経営成績の状況)

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日)における国内及び世界経済は、ウクライナ情勢の長期化による原材料やエネルギーの価格高騰に加え、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の低迷等、海外景気の下振れリスクにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは当第2四半期連結累計期間にリズム翔栄株式会社(連結子会社)になったことにより、精密部品事業における業績に貢献していることに加え、車載関連の受注が新規の案件を含め、安定してきておりますが、中国景気減速による投資抑制の影響により工作機械関連の受注が低調であることや利益面につきましては、原材料の価格高騰、円安による仕入価格の上昇が業績に影響をあたえました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上は145億38百万円(前期比12.4%減)、営業利益は1億66百万円(前期比61.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失はリズム翔栄株式会社の取得に伴う負ののれん発生益を計上したものの、システム開発計画の変更に伴うソフトウェア資産(建設仮勘定)や当社の連結子会社であるRHYTHM INDUSTRIAL(DONG GUAN) LTD.の生活用品事業における事業環境悪化に伴うリース資産の減損損失を計上したことにより83百万円(前年同期は6億円の利益)となりました。

以上から業績は次の通りとなりました。

(単位:百万円)

		2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	精密部品事業	12,822	11,167	△1,654	△12.9%
	生活用品事業	3,536	3,165	△370	△10.5%
	その他	240	204	△35	△14.7%
	計	16,599	14,538	△2,060	△12.4%
営業利益 又は 営業損失 (△)	精密部品事業	942	793	△148	△15.8%
	生活用品事業	△188	△459	△270	—
	その他	39	30	△8	△21.6%
	調整額	△359	△197	161	—
	計	433	166	△266	△61.6%
経常利益	729	439	△289	△39.7%	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	600	△83	△684	—	

これらをセグメント別に見てみますと次のとおりです。

## ①精密部品事業

国内では、自動車向け半導体入手難が解消傾向にあり、新規立上げ案件も含め、受注増加傾向が継続しております。一方、工作機械関連は中国景気減速による投資抑制から受注減少が継続、空調を含めた家電製品関連も在庫過剰な状況が継続しており、受注回復が遅れているため、9月よりリズム翔栄株式会社の業績が付加されているものの、国内では減収減益となりました。

海外では、中国を中心とする電気自動車の急速な普及により日系自動車会社が苦戦を強いられていることや物価高騰により製品全般にわたり売上減少傾向が見られます。また、空調向けにつきましても国内同様に在庫過多の状況が継続しており、海外では減収減益となりました。

これらの結果、精密部品事業全体では減収減益となりました。

## ②生活用品事業

国内では、オンライン販売が好調を維持しました。また、新たな事業の柱と位置付ける快適品においては、特にハンディファンの販売が好調で計画を大きく上回りました。しかしながら、主に百貨店・家電量販店・ホームセンターでのクロック店頭販売の減少をカバーするにはいたらず、減収となりました。利益面につきましても、為替市場における円安の影響を受け減益、営業損失となりました。

海外では、香港で新たに販売を始めた快適品は好調に推移し売上に貢献しました。しかしながら、クロックの販売においては、中国や北米経済の影響を受け、受注は低調となり減収となりました。利益面では、中国拠点の採算改善に努めましたが、半導体、原材料の高騰を吸収するにはいたらず、減益・営業損失となりました。

これらの結果、生活用品事業全体では減収減益、営業損失となりました。

## ③その他

その他事業では、物流関係は堅調に推移しましたが、アルコール検知器等の販売が一服となり、全体では減収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(財政状態の状況)

(資産)

総資産は439億56百万円となり、前連結会計年度末397億38百万円に比べて42億17百万円増加しました。流動資産は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ27億16百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ15億1百万円増加しました。

(負債)

負債合計は137億76百万円となり、前連結会計年度末108億65百万円に比べ29億11百万円増加しました。流動負債は、支払手形及び買掛金等の増加により前連結会計年度末に比べ10億29百万円増加しました。固定負債は、社債や長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億81百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は、301億79百万円となりました。為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末288億73百万円に比べ13億6百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を勘案し、2023年5月15日に公表した通期連結業績予想を修正しております。

なお、本業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,899	11,164
受取手形及び売掛金	4,115	4,338
電子記録債権	1,844	1,879
棚卸資産	8,345	9,465
その他	967	1,043
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	25,171	27,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,894	5,204
その他（純額）	5,008	5,880
有形固定資産合計	9,902	11,084
無形固定資産		
のれん	46	-
その他	487	265
無形固定資産合計	533	265
投資その他の資産		
投資有価証券	2,585	3,143
繰延税金資産	162	45
その他	1,458	1,600
貸倒引当金	△76	△71
投資その他の資産合計	4,130	4,718
固定資産合計	14,567	16,068
資産合計	39,738	43,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,293	3,736
1年内返済予定の長期借入金	907	1,112
未払法人税等	128	164
賞与引当金	343	378
役員賞与引当金	15	-
その他の引当金	14	13
その他	1,642	1,968
流動負債合計	6,344	7,373
固定負債		
社債	1,500	2,500
長期借入金	2,257	2,601
退職給付に係る負債	188	286
その他	575	1,015
固定負債合計	4,521	6,403
負債合計	10,865	13,776

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,540	7,540
利益剰余金	4,584	4,100
自己株式	△278	△279
株主資本合計	24,219	23,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839	1,267
為替換算調整勘定	3,541	4,960
退職給付に係る調整累計額	272	217
その他の包括利益累計額合計	4,653	6,445
純資産合計	28,873	30,179
負債純資産合計	39,738	43,956

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	16,599	14,538
売上原価	13,140	11,505
売上総利益	3,458	3,032
販売費及び一般管理費	3,025	2,866
営業利益	433	166
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	62	75
受取賃貸料	164	172
為替差益	145	129
その他	52	31
営業外収益合計	427	415
営業外費用		
支払利息	14	11
賃貸費用	57	64
特別退職金	-	34
その他	59	32
営業外費用合計	131	142
経常利益	729	439
特別利益		
固定資産売却益	3	0
負ののれん発生益	-	299
特別利益合計	3	299
特別損失		
固定資産処分損	0	0
固定資産売却損	1	-
減損損失	-	601
特別損失合計	1	602
税金等調整前四半期純利益	730	136
法人税、住民税及び事業税	188	204
法人税等調整額	△56	16
法人税等合計	132	220
四半期純利益又は四半期純損失(△)	598	△83
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	600	△83



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	598	△83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107	427
為替換算調整勘定	2,037	1,419
退職給付に係る調整額	△4	△55
その他の包括利益合計	2,140	1,791
四半期包括利益	2,738	1,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,740	1,708
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	730	136
減価償却費	686	647
減損損失	-	601
のれん償却額	100	50
負ののれん発生益	-	△299
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△30	△63
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△10	25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	19
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△15
受取利息及び受取配当金	△64	△82
支払利息	14	11
為替差損益 (△は益)	△113	1
固定資産処分損益 (△は益)	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	5	△23
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,357	△115
仕入債務の増減額 (△は減少)	348	241
未払消費税等の増減額 (△は減少)	119	77
その他の資産の増減額 (△は増加)	△172	△73
その他の負債の増減額 (△は減少)	0	23
小計	244	1,159
利息及び配当金の受取額	64	79
利息の支払額	△12	△15
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△242	△193
営業活動によるキャッシュ・フロー	55	1,029
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△445	△565
有形固定資産の売却による収入	7	0
無形固定資産の取得による支出	△86	△162
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
貸付金の回収による収入	2	3
事業譲受による支出	-	△703
その他	14	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△509	△1,431

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△70	-
長期借入れによる収入	2,500	1,000
長期借入金の返済による支出	△394	△450
社債の発行による収入	1,500	1,000
社債の償還による支出	△3,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	0	-
配当金の支払額	△309	△400
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△98	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	126	1,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	807	645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	479	1,265
現金及び現金同等物の期首残高	9,941	9,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,421	11,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	精密部品事業	生活用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,822	3,536	16,359	240	16,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	6	17	336	353
計	12,833	3,542	16,376	576	16,952
セグメント利益又は損 失(△)	942	△188	753	39	792

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	753
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	24
全社費用(注)	△249
棚卸資産の調整額	△134
四半期連結損益計算書の営業利益	433

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	精密部品事業	生活用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,167	3,165	14,333	204	14,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	4	7	322	329
計	11,170	3,170	14,340	526	14,867
セグメント利益又は損 失(△)	793	△459	333	30	364

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	333
「その他」の区分の利益	30
セグメント間取引消去	16
全社費用(注)	△279
棚卸資産の調整額	64
四半期連結損益計算書の営業利益	166

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「生活用品事業」において、当社の連結子会社であるRHYTHM INDUSTRIAL(DONG GUAN)LTD.の生活用品事業につきまして、事業環境の悪化に伴い収益性が低下し、当面業績回復が見込まれないことから、リース資産(工場の賃借契約)につきまして、3億16百万円の減損損失を計上しております。

報告セグメントに帰属しない全社資産において、システム開発計画の変更によって今後の利用が見込めなくなったソフトウェア資産(建設仮勘定)について2億85百万円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

「精密部品事業」において、当社100%出資子会社としてリズム翔栄株式会社を新規設立し、株式会社翔栄からの事業譲受完了に伴い、連結の範囲に含めております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、2億99百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

## (企業結合等関係)

## (連結子会社による事業譲受)

当社は、2023年6月26日開催の取締役会において、当社100%出資子会社として連結子会社「リズム翔栄株式会社」を新たに設立し、株式会社翔栄より、同社が運営するタッチパネル、車載用各種ミラー及び関連製品の開発・製造・販売する事業を譲り受け、新たな事業を開始することを決議し、同日付で株式会社翔栄と子会社リズム翔栄株式会社との間で事業譲渡契約を締結しました。その後、2023年9月1日付で事業譲受を完了いたしました。

## 1 企業結合の概要

## (1) 相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称	株式会社翔栄
事業の内容	タッチパネル、車載用各種ミラー及び関連製品の開発・製造・販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、長期ビジョンの実現に向け、2023年3月期～2025年3月期まで3ヵ年の中期経営計画を実行しており、成長ドライバーである精密部品事業においては、「車載」「海外」を戦略のキーとし、事業の成長加速へ取組中であります。

このような状況下、この度、株式会社翔栄の車載関連事業を承継し、当社100%子会社として新会社を設立することを決定いたしました。株式会社翔栄は、「物づくりを通じ社会へ貢献」、「2年先のスタンダードを、いま提供」を企業理念に掲げ、車載向けを中心とした総合タッチパネルメーカーとして1982年の創業以来飛躍的な成長を遂げてきました。脱炭素化や技術革新の流れを受け、100年に一度の大変革期と言われる自動車業界において、先端技術と先取りのところで、ヘッドアップディスプレイをはじめ今後更に成長が見込まれる先進運転支援システムやコネクテッド機能関連など新たな市場に向けた新製品開発にも積極果敢に挑戦をしております。

当該事業譲受により、車載関連分野での売上・利益の拡大加速、製品領域の拡大を図ることは、当社グループの企業価値向上に資するものと判断しております。なお、譲受対象資産には、株式会社翔栄の保有する子会社株式会社(SHOEI U.S.A., Inc.、SHOEI Electronic Component GmbH)を含んでおり、ドイツ、米国両拠点の事業運営は引き続き継続いたします。両拠点を活用し、欧州・米国メカサプライヤーに対し当社製品の新規採用に向けた営業活動を推し進め、グループ全体での取引拡大により、株式会社翔栄がこれまで築き上げてきた取引先との信頼関係を更に強固なものにしてまいります。また技術・製造面でも株式会社翔栄の持つ人材、ノウハウ、設備等を承継し、当社グループのもの造り力との融合、シナジー発揮により、当社グループの中長期的、持続的成長を実現してまいります。

## (3) 企業結合日

2023年9月1日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

## (5) 結合後企業の名称

リズム翔栄株式会社

## 2 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2023年9月1日から2023年9月30日まで

## 3 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	7億4百万円
取得原価		7億4百万円

4 発生した負ののれんの金額、発生原因

(1) 発生した負ののれん金額

2億99百万円

(2) 発生原因

被取得企業の企業結合時の時価純資産が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しております。



(重要な後発事象)

該当事項はありません。